

XACK RADIUS

ハンドブック

株式会社XACK



0. 目次

- ◆ 1. はじめに
 - ◆ 1.1. XACK RADIUSとは
 - ◆ 1.2. XACK RADIUS Managerとは
- ◆ 2. RADIUSサーバー構築手順
 - ◆ 2.1. RADIUSサーバー環境構成
 - ◆ 2.2. RADIUSサーバー構築
 - ◆ 2.2.1. XACK RADIUS Managerへのログイン
 - ◆ 2.2.2. 設定確認
 - ◆ 2.2.3. 起動・動作確認
 - ◆ 2.3. XACK RADIUS運用操作確認
 - ◆ 2.3.1. IPプール設定確認
 - ◆ 2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加
 - ◆ 2.3.3. テストパケット送信
 - ◆ 2.3.4. 統計情報参照
 - ◆ 2.4. アカウント管理
 - ◆ 2.4.1. アカウント追加
 - ◆ 2.4.2. アカウント編集
- ◆ 3. おわりに

1. はじめに

- ◆ 1. はじめに
 - ◆ 1.1. XACK RADIUSとは
 - ◆ 1.2. XACK RADIUS Managerとは
- ◆ 2. RADIUSサーバー構築手順
 - ◆ 2.1. RADIUSサーバー環境構成
 - ◆ 2.2. RADIUSサーバー構築
 - ◆ 2.2.1. XACK RADIUS Managerへのログイン
 - ◆ 2.2.2. 設定確認
 - ◆ 2.2.3. 起動・動作確認
 - ◆ 2.3. XACK RADIUS運用操作確認
 - ◆ 2.3.1. IPプール設定確認
 - ◆ 2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加
 - ◆ 2.3.3. テストパケット送信
 - ◆ 2.3.4. 統計情報参照
 - ◆ 2.4. アカウント管理
 - ◆ 2.4.1. アカウント追加
 - ◆ 2.4.2. アカウント編集
- ◆ 3. おわりに

1. はじめに

- ◆ XACK UI製品ラボ(XACK RADIUS)ではXACK RADIUSの管理ツールである**XACK RADIUS Manager**をお試し頂けます。
- ◆ 本ハンズオンではXACK RADIUSの設定確認・起動・動作確認の手順を記載しております。

1.1. XACK RADIUSとは

- ◆ XACK RADIUSは広範な用途に利用可能な高性能かつ柔軟なRADIUSサーバーです。
- ◆ XACK RADIUSにはHome機能、Proxy機能を有しており、様々なご要望にお応えできます。
- ◆ XACK RADIUSの特徴には以下の4点があります。
 - ◆ 大規模
 - ◆ 高性能・高信頼性
 - ◆ 多様なEAP認証方式
 - ◆ 柔軟なカスタマイズ

1.2. XACK RADIUS Managerとは

- ◆ XACK RADIUS ManagerはXACK RADIUSにバンドルされる無償のWeb UIです。
- ◆ RADIUSの運用負荷を軽減するブラウザ操作・日本語対応で扱いやすい統合管理GUIツールです。
- ◆ XACK RADIUS Managerの特徴には以下の2点があります。
 - ◆ 排他制御により設定の衝突を防止、権限設定によりユーザー毎の操作を制限
 - ◆ 冗長構成の一元管理

2. RADIUSサーバー構築手順

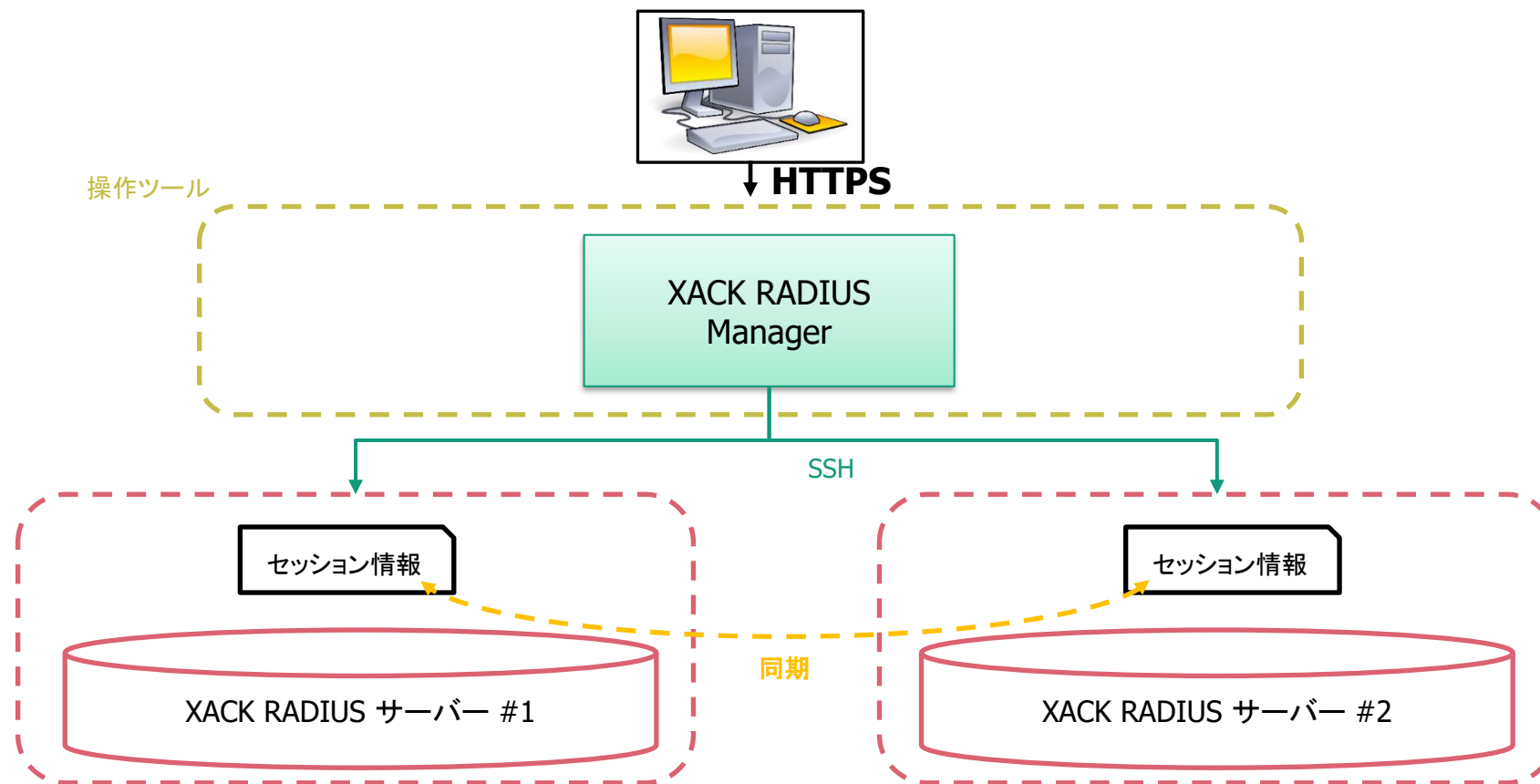
- ◆ 1. はじめに
 - ◆ 1.1. XACK RADIUSとは
 - ◆ 1.2. XACK RADIUS Managerとは
- ◆ 2. RADIUSサーバー構築手順
 - ◆ 2.1. RADIUSサーバー環境構成
 - ◆ 2.2. RADIUSサーバー構築
 - ◆ 2.2.1. XACK RADIUS Managerへのログイン
 - ◆ 2.2.2. 設定確認
 - ◆ 2.2.3. 起動・動作確認
 - ◆ 2.3. XACK RADIUS運用操作確認
 - ◆ 2.3.1. IPプール設定確認
 - ◆ 2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加
 - ◆ 2.3.3. テストパケット送信
 - ◆ 2.3.4. 統計情報参照
 - ◆ 2.4. アカウント管理
 - ◆ 2.4.1. アカウント追加
 - ◆ 2.4.2. アカウント編集
- ◆ 3. おわりに

2. RADIUSサーバー構築手順

- ◆ 本章では以下の手順を説明致します。
 - ◆ RADIUSサーバー構築
 - ◆ 各種設定内容確認
 - ◆ 起動・動作確認
 - ◆ XACK RADIUS運用操作確認
 - ◆ IPプール設定確認
 - ◆ XACK RADIUS ユーザー追加
 - ◆ テストパケット送信
 - ◆ 統計情報参照
 - ◆ アカウント管理
 - ◆ アカウント追加
 - ◆ アカウント編集

2.1. RADIUSサーバー環境構成

- ◆ RADIUSデモ環境の構成は以下の通りとなります。



2.2. RADIUSサーバー構築

- ◆ XACK RADIUSの「トライ」を選択します。
- ◆ ※環境構築時に時間を要する場合がございます。
- ◆ ※同時利用ユーザー数に制限がございますので、超過した場合には時間を置いてのご利用をお願いします。



XACK UI製品ラボ

- 初回利用時にはハンドブックを確認してください。
- 本サイトは、Google Chrome 最新版で動作を確認しています。
- デモ環境は、10分間操作が無いと自動的に利用終了されます。
- デモ環境は、利用開始から一時間経過すると自動的に利用終了されます。

XACK DNS	XACK DHCP	XACK RADIUS
トライ	トライ	トライ
ハンドブック	ハンドブック	ハンドブック
製品サイト	製品サイト	製品サイト

Copyright © 2021-2025 XACK Inc.

2.2.1. XACK RADIUS Managerへのログイン

- ◆ ユーザー名に「admin」、パスワードに「admin」を入力し、「ログイン」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます



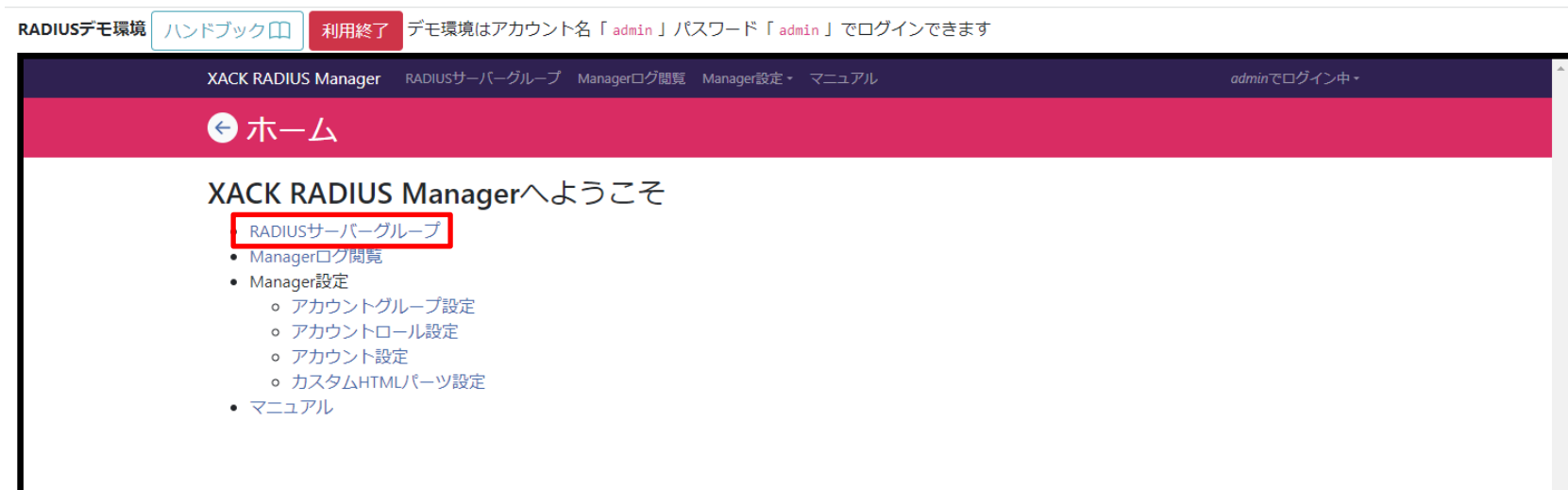
XACK RADIUS Manager ログイン

アカウント名 ✓

パスワード ✓ 

2.2.2. 設定確認

- ◆ 「RADIUSサーバーグループ」を選択します。



2.2.2. 設定確認

- ◆ グループ名「home」の「表示」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← グループ一覧

1ページ当たりの表示数

グループ名	ロック状態	コメント	
home			表示
proxy			表示

[グループ登録](#)

2.2.2.1. 基本設定確認

- ◆ サーバー設定の「基本設定」を選択します。



2.2.2.1. 基本設定確認

- ◆ XACK RADIUSの動作を指定する基本設定画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > 基本設定

radius_std_port	yes	✓
RADIUS標準のUDPポート(1812/1813)を使用の有無を指定します。デフォルト値yes		
radius_auth_ports	(値無し)	
RADIUS認証を有効にするUDPポート番号を指定できます。(複数指定可能)		
radius_acct_ports	(値無し)	
RADIUSアカウントングを有効にするUDPポート番号を指定できます。(複数指定可能)		
conf_directory	conf	✓
設定ファイルディレクトリ(設定値固定)		
data_directory	data	✓
ユーザー定義ファイル users.csv を読み込むディレクトリ(設定値固定)		

2.2.2.2. 同期設定確認

- ◆ サーバー設定の「同期設定」を選択します。



2.2.2.2. 同期設定確認

- ◆ XACK RADIUSの同期処理を指定する同期設定画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > 同期設定

bind_address	radius-1	172.31.67.143	✓
	radius-2	172.31.68.40	✓
同期時の自ホストのIPアドレスを指定します			
bind_port	radius-1	53000	✓
	radius-2	53000	✓
同期時の自ホストのポート番号を指定します デフォルト値:53000			
sync_port		54000	✓
同期時の全サーバー共通のデータ用ポート番号 デフォルト値:54000			

2.2.2.3. テナント情報設定確認

- ◆ サーバー設定の「テナント情報設定」を選択します。



2.2.2.3. テナント情報設定確認

- ◆ 「デフォルトテナント設定」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > テナント情報設定

デフォルトテナント設定

1ページ当たりの表示数

テナント名	LOCAL	REMOTE	REALM	Called-Station-Id	
Accounting-department				03-3518-9703	個別設定
Engineering-Department				03-3518-9702	個別設定
Sales-department				03-3518-9701	個別設定

2.2.2.3. テナント情報設定確認

- ◆ XACK RADIUSで使用するプラグインを指定するデフォルトテナントプラグイン設定画面です。
 - ◆ 使用可能なプラグインはライセンスオプションにより異なります。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > デフォルトテナントプラグイン設定

プラグイン	オプション	状態
プロキシ機能プラグイン	-n 0	無効
プラグイン選択プラグイン		有効
ユーザー毎アトリビュート付与プラグイン	-n Add-Attribute	有効
クライアント毎AVP付与プラグイン	-n 0	有効
動的アドレス抽出プラグイン	-n 0 -h 2 -t 1 -r 2	有効
トラフィック統計情報プラグイン	-i 0	有効

2.2.2.3. テナント情報設定確認

- ◆ テナント名「Sales-department」の「個別設定」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > テナント情報設定

デフォルトテナント設定

1ページ当たりの表示数

テナント名	LOCAL	REMOTE	REALM	Called-Station-Id	
Accounting-department				03-3518-9703	個別設定
Engineering-Department				03-3518-9702	個別設定
Sales-department				03-3518-9701	個別設定

2.2.2.3. テナント情報設定確認

- ◆ XACK RADIUSで使用するテナントで、利用可能な認証方式や各テナントで使用するプラグインを指定するテナント個別設定編集画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > テナント個別設定編集

テナント名	Sales-department
validate_username	<input type="text" value="yes"/>  
<small>認証時に認証要求に含まれるUser-Name属性とユーザ認証情報CSVファイルのUser-Nameが完全一致の検査を行うかを指定します デフォルト値:yes</small>	
auth_method	<input checked="" type="checkbox"/> PAP <input checked="" type="checkbox"/> CHAP <input checked="" type="checkbox"/> MS-CHAPv2 <input type="checkbox"/> Ascend-PAP
<small>認証に使用する方式を指定します デフォルト値:PAP,CHAP,MS-CHAPv2</small>	
プラグイン選択	<input type="text" value="(値無し)"/>
<small>使用するプラグインを指定します</small>	

2.2.2.3. テナント情報設定確認

- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > テナント情報設定

デフォルトテナント設定

1ページ当たりの表示数

テナント名	LOCAL	REMOTE	REALM	Called-Station-Id	
Accounting-department				03-3518-9703	個別設定
Engineering-Department				03-3518-9702	個別設定
Sales-department				03-3518-9701	個別設定

2.2.2.4. クライアント認証設定確認

- ◆ サーバー設定の「クライアント認証設定」を選択します。



2.2.2.4. クライアント認証設定確認

- ◆ IPアドレス毎に設定される共有鍵、切断要求送信ポート番号および所属するNASグループ名を指定する設定画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > クライアント認証設定

1ページ当たりの表示数

IPアドレス/NAS名	共有鍵	切断要求送信ポート番号	NASグループ名
10.0.0.104	local	3799	bas004
10.0.2.0/24	local	3799	XACK_support
10.0.0.105	local	3799	bas005
10.0.1.0/24	local	3799	XACK_sales
172.16.0.0/12	local	3799	demo-group
10.0.0.103	local	3799	bas003
10.0.0.101	local	3799	bas001
10.0.0.102	local	3799	bas002

2.2.2.5. クライアント毎AVP付与設定確認

- ◆ サーバー設定の「クライアント毎AVP付与設定」を選択します。



2.2.2.5. クライアント毎AVP付与設定確認

- ◆ NASグループ名毎に付与するアトリビュート種別、アトリビュート名、アトリビュート値およびアトリビュートを付与するRADIUSコードを指定する設定画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > クライアント毎AVP付与設定一覧

1ページ当たりの表示数

NASグループ名	RADIUSコード	アトリビュート種別	アトリビュート名	アトリビュート値	エクスポート
bas001	Access-Accept	RADIUSアトリビュート	Reply-Message	hello.	

2.2.2.6. RADIUS辞書設定確認

- ◆ サーバー設定の「RADIUS辞書設定」を選択します。



2.2.2.6. RADIUS辞書設定確認

- ◆ アトリビュートの場合アトリビュート名、アトリビュート番号およびデータ型を、ベンダーの場合にはベンダー名、ベンダーIDおよびファイル名を指定する設定画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

home > RADIUS辞書設定

アトリビュート名/ベンダー名検索

1ページ当たりの表示数 10

辞書設定種別	△ アトリビュート名/ベンダー名	△ アトリビュート番号/ベンダーID	データ型/ファイル名
ATTRIBUTE	アトリビュート名: CHAP-Password	アトリビュート番号: 3	データ型: string
ATTRIBUTE	アトリビュート名: Tunnel-Server-Endpoint	アトリビュート番号: 67	データ型: string
ATTRIBUTE	アトリビュート名: NAS-Port-Id	アトリビュート番号: 87	データ型: string
▼ ATTRIBUTE	アトリビュート名: Framed-IP-Address	アトリビュート番号: 8	データ型: ipaddr
ATTRIBUTE	アトリビュート名: Acct-Delay-Time	アトリビュート番号: 41	データ型: integer
▼ ATTRIBUTE	アトリビュート名: Service-Type	アトリビュート番号: 6	データ型: integer
ATTRIBUTE	アトリビュート名: CHAP-Challenge	アトリビュート番号: 60	データ型: string
ATTRIBUTE	アトリビュート名: Framed-IP-Netmask	アトリビュート番号: 9	データ型: ipaddr
▼ ATTRIBUTE	アトリビュート名: Termination-Action	アトリビュート番号: 29	データ型: integer
▼ ATTRIBUTE	アトリビュート名: Framed-Compression	アトリビュート番号: 13	データ型: integer

VSA辞書ファイル一覧

1ページ当たりの表示数 10

2.2.2.7. EAP設定確認

- ◆ サーバー設定の「EAP設定」を選択します。



2.2.2.7. EAP設定確認

- ◆ 「証明書管理」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > EAP設定

[証明書管理](#) [TLS基本設定](#)

認証方式	状態
EAP-TLS	有効
EAP-TTLS	有効
PEAP	有効
EAP-RP	有効

2.2.2.7. EAP設定確認

- ◆ 「CA証明書」タブを選択します。
- ◆ デモ用に使用する自己証明書が表示されていることを確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。



2.2.2.7. EAP設定確認

- ◆ 「TLS基本設定」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > EAP設定

[証明書管理](#) [TLS基本設定](#)

認証方式	状態
EAP-TLS	有効
EAP-TTLS	有効
PEAP	有効
EAP-RP	有効

2.2.2.7. EAP設定確認

- ◆ EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAPで使用するTLS関連の設定画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > TLS基本設定

certificate	<input type="text" value="server.crt"/> ✓ サーバー証明書ファイル名(設定値固定)
private_key	<input type="text" value="server.key"/> ✓ 秘密鍵ファイル名(設定値固定)
pass_phrase	<input type="text"/> ✓ 秘密鍵を保護するパスフレーズを指定します。
rand_file	<input type="text" value="random"/> ✓ 乱数ファイル名(設定値固定)
ca_path	<input type="text" value="ca"/> ✓ CA証明書ディレクトリ(設定値固定)

2.2.2.7. EAP設定確認

- ◆ EAP認証方式として使用する認証方式を指定する設定画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。



2.2.3. 起動・動作確認

- ◆ 起動・動作確認を実施します。
- ◆ 「radius-1」、「radius-2」が停止中であることを確認します。



2.2.3.1. ロックの取得

- ◆ 排他制御のためロックを取得します。
- ◆ 「ロック」を選択します。



2.2.3.1. ロックの取得

- ◆ 「ロック時に表示するコメント」には何も入力せず、「ロック取得」を選択します。



2.2.3.1. ロックの取得

- ◆ 「ロック解除」と表示されることでロックを取得できたことを確認します。



2.2.3.2. XACK RADIUSの起動

- ◆ 運用操作の「起動／停止」を選択します。



2.2.3.2. XACK RADIUSの起動

- ◆ 「radius-1」を起動します。
- ◆ サーバー名「radius-1」の「起動」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > 起動/停止

[更新](#)

サーバー名	ホスト名	IPアドレス	リンク状態	稼働状態	操作
radius-1					起動
radius-2					起動

2.2.3.2. XACK RADIUSの起動

- ◆ 「radius-1」が起動されたことを確認します。
- ◆ サーバー名「radius-2」の「起動」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル

home > 起動/停止

通知
サーバーradius-1を起動しました。

更新

サーバー名	ホスト名	IPアドレス	リンク状態	稼働状態	操作
radius-1	ip-172-31-67-143.ec2.internal	172.31.67.143	UP	Active	停止
radius-2	(unknown)	172.31.68.40	DOWN	Unknown	起動

radius-1

2023/01/17 13:56:40.109942 SYNC001001-N starting up manager.... PID=1207 TID=140080673663872
2023/01/17 13:56:41.115720 SYNC001009-I detaching from the terminal.... PID=1210 TID=140080673663872
XACK RADIUS Server
Copyright (C) 2010-2022 XACK, Inc. All rights reserved.
Non authorized use or duplication is prohibited.
Contact support@xack.co.jp for technical support.
Version: 1.2.2
Specification: XACK RADIUS for Enterprise
Licensed-To: XACK Inc.
Serial-Number: TINWX-T6UNG-KIEHC-XWJYG
Released: 20210826

2.2.3.2. XACK RADIUSの起動

- ◆ 「radius-2」が起動されたことを確認します。
- ◆ 稼働状態は「radius-1」および「radius-2」が共に「Active」であることを確認します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル

home > 起動/停止

通知
サーバーradius-2を起動しました。

更新

サーバー名	ホスト名	IPアドレス	リンク状態	稼働状態	操作
radius-1	ip-172-31-67-143.ec2.internal	172.31.67.143	UP	Active	停止
radius-2	ip-172-31-68-40.ec2.internal	172.31.68.40	UP	Active	停止

radius-2

```
2023/01/17 13:58:27.586642 SYNC001001-N starting up manager...: PID=1290 TID=139861630540672
2023/01/17 13:58:27.588872 SYNC001204-I connected: PID=1290 TID=139861630540672 ADDRESS=172.31.67.143 PORT=53000
2023/01/17 13:58:28.592970 SYNC001009-I detaching from the terminal...: PID=1293 TID=139861630540672
XACK RADIUS Server
Copyright (C) 2010-2022 XACK, Inc. All rights reserved.
Non authorized use or duplication is prohibited.
Contact support@xack.co.jp for technical support.
Version: 1.2.2
Specification: XACK RADIUS for Enterprise
Licensed-To: XACK Inc.
Serial-Number: TINWX-T6UNG-KIEHC-XWJYG
Released: 20210826
```

2.2.3.2. XACK RADIUSの起動

- ◆ 「←」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル

home > 起動/停止

通知
サーバーradius-2を起動しました。

更新

サーバー名	ホスト名	IPアドレス	リンク状態	稼働状態	操作
radius-1	ip-172-31-67-143.ec2.internal	172.31.67.143	UP	Active	停止
radius-2	ip-172-31-68-40.ec2.internal	172.31.68.40	UP	Active	停止

radius-2

```
2023/01/17 13:58:27.586642 SYNC001001-N starting up manager...: PID=1290 TID=139861630540672
2023/01/17 13:58:27.588872 SYNC001204-I connected: PID=1290 TID=139861630540672 ADDRESS=172.31.67.143 PORT=53000
2023/01/17 13:58:28.592970 SYNC001009-I detaching from the terminal...: PID=1293 TID=139861630540672
XACK RADIUS Server
Copyright (C) 2010-2022 XACK, Inc. All rights reserved.
Non authorized use or duplication is prohibited.
Contact support@xack.co.jp for technical support.
Version: 1.2.2
Specification: XACK RADIUS for Enterprise
Licensed-To: XACK Inc.
Serial-Number: TINWX-T6UNG-KIEHC-XWJYG
Released: 20210826
```

2.2.3.2. XACK RADIUSの起動

- ◆ 「radius-1」および「radius-2」が起動中であることを確認します。



2.2.3.3. テストパケット送信による動作確認

- ◆ 運用操作の「テストパケット送信」を選択します。



2.2.3.3. テストパケット送信による動作確認

- ◆ 「シナリオファイル管理」タブを選択します。
- ◆ あらかじめ用意されたシナリオである「test-query-scenario.scn」を使用します。



2.2.3.3. テストパケット送信による動作確認

- ◆ 「テストパケット送信」タブを選択します。
- ◆ シナリオファイル「test-query-scenario.scn」を選択します。
- ◆ 「送信」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > テストパケット送信

① 本機能の使用前に、以下について確認してください
・ EAP-Monitorの使用許諾証に同意してあること

テストパケット送信	シナリオファイル管理
シナリオファイル	<input type="text" value="test-query-scenario.scn"/> ✓
	<input type="button" value="送信"/>

2.2.3.3. テストパケット送信による動作確認

- ◆ 以下のような「exit code : 0」の応答結果が得られることで、XACK RADIUSが正常に動作することを確認します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

シナリオファイル 送信

コマンド実行結果 exit code : 0

```
2023-01-17 14:16:47.366912 = Scenario mode start =
2023-01-17 14:16:47.366933 -----
2023-01-17 14:16:47.366938 == Scenario: /usr/local/eap-monitor/scenario/test-query-scenario.scn Repeat: 1 ==
2023-01-17 14:16:47.366942
2023-01-17 14:16:47.367027 ===== Scene #1 / line #2 =====
2023-01-17 14:16:47.367030 PARAMETER
2023-01-17 14:16:47.367312 ===== Scene #2 / line #18 =====
2023-01-17 14:16:47.367315 SEND Access-Request
2023-01-17 14:16:47.367318 *radius identifier: 0x00 code: 0x01(Access-Request)
2023-01-17 14:16:47.367351 ===== Scene #3 / line #27 =====
2023-01-17 14:16:47.367353 RECV Access-Accept
2023-01-17 14:16:47.368518 *radius identifier: 0x00 code: 0x02(Access-Accept)
2023-01-17 14:16:47.368810 ===== Scene #4 / line #29 =====
2023-01-17 14:16:47.368813 ===== Scene #5 / line #31 =====
2023-01-17 14:16:47.368815 ===== Scene #6 / line #34 =====
2023-01-17 14:16:47.368817 SEND Accounting-Request
2023-01-17 14:16:47.368820 *radius identifier: 0x01 code: 0x04(Accounting-Request)
2023-01-17 14:16:47.368839 ===== Scene #7 / line #42 =====
2023-01-17 14:16:47.368841 RECV Accounting-Response
2023-01-17 14:16:47.369587 *radius identifier: 0x01 code: 0x05(Accounting-Response)
2023-01-17 14:16:47.369597 ===== Scene #8 / line #44 =====
2023-01-17 14:16:47.369599
2023-01-17 14:16:47.369601 = Scenario mode end =
```

2.2.3.3. テストパケット送信による動作確認

◆ 「←」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > テストパケット送信

ⓘ 本機能の使用前に、以下について確認してください
・EAP-Monitorの使用許諾証に同意してあること

テストパケット送信 シナリオファイル管理

シナリオファイル test-query-scenario.scn ✓

送信

コマンド実行結果 exit code : 0

```
2023-01-17 14:16:47.366912 = Scenario mode start =  
2023-01-17 14:16:47.366933 -----  
2023-01-17 14:16:47.366938 == Scenario: /usr/local/eap-monitor/scenario/test-query-scenario.scn Repeat: 1 ==  
2023-01-17 14:16:47.366942  
2023-01-17 14:16:47.367027 ===== Scene #1 / line #2 =====  
2023-01-17 14:16:47.367030 PARAMETER  
2023-01-17 14:16:47.367312 ===== Scene #2 / line #18 =====  
2023-01-17 14:16:47.367315 SEND Access-Request  
2023-01-17 14:16:47.367318 *radius identifier: 0x00 code: 0x01(Access-Request)  
2023-01-17 14:16:47.367351 ===== Scene #3 / line #27 =====  
2023-01-17 14:16:47.367353 RECV Access-Accept  
2023-01-17 14:16:47.368518 *radius identifier: 0x00 code: 0x02(Access-Accept)  
2023-01-17 14:16:47.368810 ===== Scene #4 / line #29 =====
```

2.3. XACK RADIUS運用操作確認

- ◆ XACK RADIUSの運用操作確認について説明します。

2.3.1. IPプール設定確認

- ◆ 運用設定の「IPプール設定」を選択します。



2.3.1. IPプール設定確認

- ◆ RADIUS認証許可時に払い出すIPアドレスのアドレスプールを指定する設定画面です。
- ◆ 設定されている情報を確認します。
- ◆ 「←」を選択し、保存せずに戻ります。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > IPプーラー一覧

全件インポート 全件エクスポート 差分インポート 差分エクスポート 追加 +

1ページ当たりの表示数 10 < 1 2 > 合計 15 件

プールID	NASグループ名	ネットワークアドレス	サブネットマスク	
10000000	XACK_support	10.0.1.0	24	編集 削除
10000001	XACK_support	10.0.2.0	24	編集 削除
10000002	XACK_sales	10.0.3.0	24	編集 削除
10000003	XACK_sales	10.0.4.0	24	編集 削除
10000004	bas001	10.0.5.0	24	編集 削除
10000005	bas001	10.0.6.0	24	編集 削除
10000006	bas002	10.0.7.0	24	編集 削除
10000007	bas002	10.0.8.0	24	編集 削除
1000000a	bas003	10.0.9.0	24	編集 削除
1000000b	bas003	10.0.10.0	24	編集 削除

2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ 運用設定の「ユーザー設定」を選択します。



2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ テナント名毎に登録されているユーザー一覧が表示されていることを確認します。
- ◆ 「追加」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > ユーザー一覧

インポート/エクスポート **追加 +**

1ページ当たりの表示数 合計 6 件

テナント名	ユーザー名	アトリビュート付与有無	アトリビュート名	アトリビュート付与値	
	sales@xack.co.jp	ON	Reply-Message	sales	編集 削除
	support@xack.co.jp	ON	Reply-Message	support	編集 削除
Accounting-department	tanaka@xack.co.jp	OFF			編集 削除
Engineering-Department	yamada@xack.co.jp	OFF			編集 削除
Sales-department	sato@xack.co.jp	OFF			編集 削除
Sales-department	suzuki@xack.co.jp	OFF			編集 削除

2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ 新規ユーザーを登録します。
- ◆ テナント名を空欄(デフォルトテナント)、ユーザー名に「hands-on@xack.co.jp」、パスワードに「ho2@1e2」と入力します。
- ◆ アトリビュート付与で「ON」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

home > XACK RADIUS Manager

テナント名	<input type="text"/>	▼
テナント名を指定します。設定した場合、当該テナントを参照可能なアカウントからのみ参照/編集が可能になります。		
ユーザー名	<input type="text" value="hands-on@xack.co.jp"/>	✓
ユーザー名を指定します。		
パスワード	<input type="text" value="ho2@1e2"/>	✓
認証で使用するパスワードを指定します		
アトリビュート付与	<input type="text" value="ON"/>	▼
アトリビュート付与の有無を指定します。ユーザー毎アトリビュート付与プラグインが無効の場合は無視されます。		
アトリビュート名	<input type="text"/>	▼
付与するアトリビュート名を指定します。ユーザー毎アトリビュート付与プラグインが無効の場合は無視されます。		
アトリビュート値	<input type="text"/>	✓
付与するアトリビュート値を指定します。ユーザー毎アトリビュート付与プラグインが無効の場合は無視されます。		

保存

2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ アトリビュート付与で「on」を選択すると下部に追加設定項目が表示されます。
- ◆ アトリビュート名は「Reply-Message」を選択し、アトリビュート値に「hands-on」と入力します。
- ◆ 「保存」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > XACK RADIUS Manager

テナント名	<input type="text"/>	▼
テナント名を指定します。設定した場合、当該テナントを参照可能なアカウントからのみ参照/編集が可能になります。		
ユーザー名	<input type="text" value="hands-on@xack.co.jp"/>	✓
ユーザー名を指定します。		
パスワード	<input type="text" value="ho2@1e2"/>	✓
認証で使用するパスワードを指定します		
アトリビュート付与	<input type="text" value="ON"/>	▼
アトリビュート付与の有無を指定します。ユーザー毎アトリビュート付与プラグインが無効の場合は無視されます。		
アトリビュート名	<input type="text" value="Reply-Message"/>	▼
付与するアトリビュート名を指定します。ユーザー毎アトリビュート付与プラグインが無効の場合は無視されます。		
アトリビュート値	<input type="text" value="hands-on"/>	✓
付与するアトリビュート値を指定します。ユーザー毎アトリビュート付与プラグインが無効の場合は無視されます。		



2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ ユーザー一覧に追加したユーザーが存在することを確認します。
- ◆ 「←」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル

[←](#) home > ユーザー一覧

通知
新規ユーザー hands-on@xack.co.jp を登録しました

インポート/エクスポート 追加 +

1ページ当たりの表示数 10 合計 7 件

テナント名	ユーザー名	アトリビュート付与有無	アトリビュート名	アトリビュート付与値	
	sales@xack.co.jp	ON	Reply-Message	sales	編集 削除
	support@xack.co.jp	ON	Reply-Message	support	編集 削除
	hands-on@xack.co.jp	ON	Reply-Message	hands-on	編集 削除
Accounting-department	tanaka@xack.co.jp	OFF			編集 削除
Engineering-Department	yamada@xack.co.jp	OFF			編集 削除
Sales-department	sato@xack.co.jp	OFF			編集 削除
Sales-department	suzuki@xack.co.jp	OFF			編集 削除

2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ 運用設定の「ユーザー設定」に「未反映」を示す表示が出力されていることを確認します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← XACK RADIUS Manager

radius-1 起動中 radius-2 起動中

home [ロック解除](#) [設定](#)

サーバー設定

- 基本設定
- 同期設定
- テナント情報設定
- クライアント認証設定
- クライアント毎AVP付与設定
- RADIUS辞書設定
- EAP設定

運用設定

- ユーザー設定 **未反映**
- IPプール設定

運用操作

- 起動/停止
- テストパケット送信
- 統計情報参照
- セッション情報参照/削除
- プール情報参照
- ログ閲覧
- バックアップ/リストア

[設定差分確認](#)

2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ 「設定差分確認」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← XACK RADIUS Manager

radius-1 起動中 radius-2 起動中

home [ロック解除](#) [設定](#)

サーバー設定

- 基本設定
- 同期設定
- テナント情報設定
- クライアント認証設定
- クライアント毎AVP付与設定
- RADIUS辞書設定
- EAP設定

運用設定

- ユーザー設定 未反映
- IPプール設定

運用操作

- 起動/停止
- テストパケット送信
- 統計情報参照
- セッション情報参照/削除
- プール情報参照
- ログ閲覧
- バックアップ/リストア

[設定差分確認](#)

2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ 先ほど追加したユーザー設定情報が表示されていることを確認します。
- ◆ チェックボックス「反映後にバックアップを生成する」にチェックを入れ、「設定を反映」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← home > 差分表示／反映

☒ 反映後にバックアップを生成する [設定を反映](#)

ユーザー変更差分				
テナント名	ユーザー名	アトリビュート付与有無	アトリビュート名	アトリビュート付与値
追加	hands-on@xack.co.jp	ON	Reply-Message	hands-on

2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加

- ◆ 「未反映」を示す表示が消え、変更した設定が反映されたことを確認します。



2.3.3. テストパケット送信

- ◆ XACK RADIUSに正しくユーザーが追加されたことをテストパケットを送信して確認します。
- ◆ 運用操作の「テストパケット送信」を選択します。



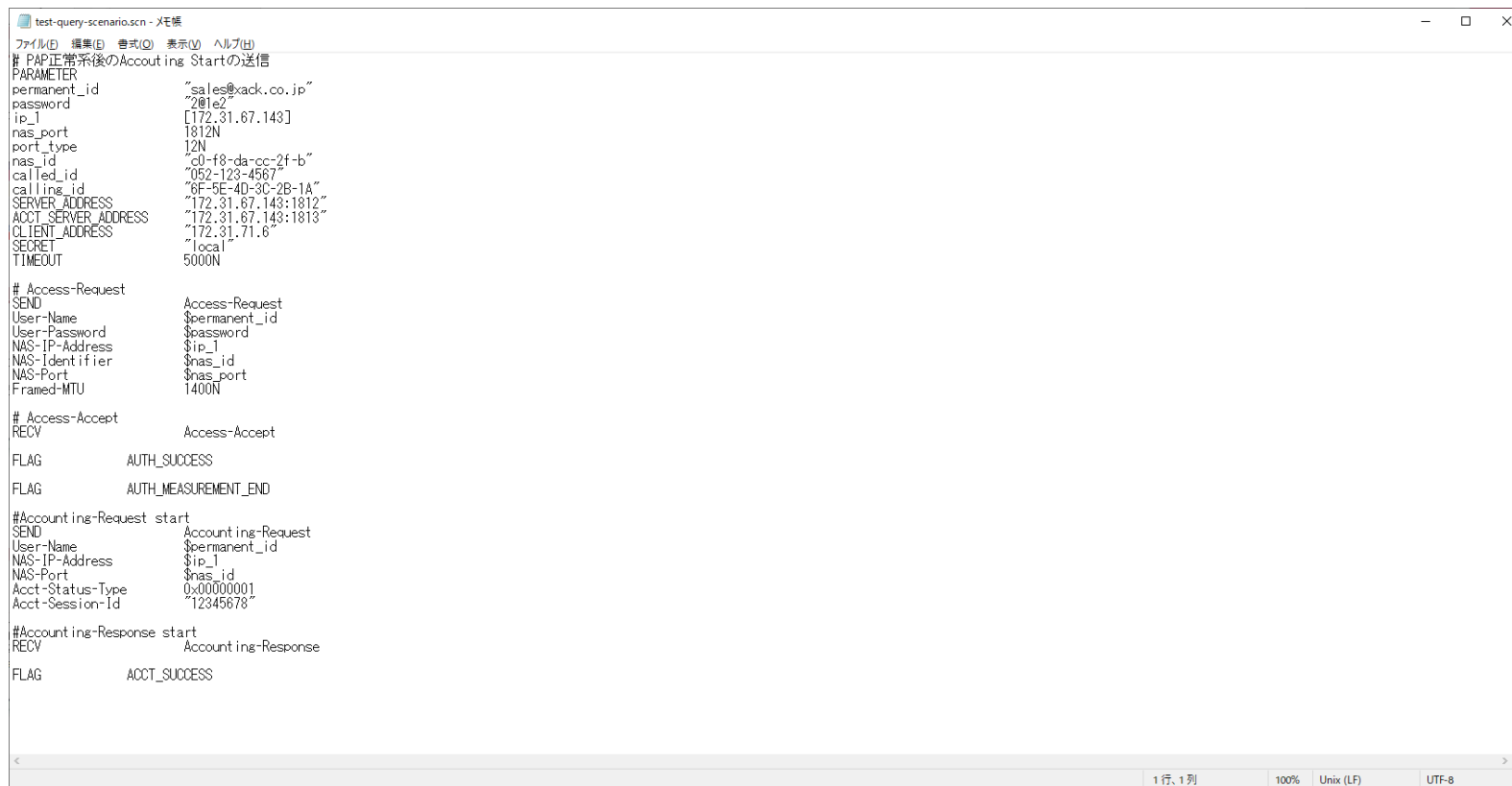
2.3.3. テストパケット送信

- ◆ 「シナリオファイル管理」タブを選択します。
- ◆ ファイル名「test-query-scenario.scn」の「ダウンロード」を選択します。



2.3.3. テストパケット送信

- ◆ 「test-query-scenario.scn」がダウンロードされたことを確認します。
- ◆ 「test-query-scenario.scn」をテキストエディタで開き編集します。



```
test-query-scenario.scn - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
# PAP正常系後のAccounting Startの送信
PARAMETER
permanent_id      "sales@xack.co.jp"
password           "201e2"
ip_1               [172.31.67.143]
nas_port           1812N
port_type          12N
nas_id             "c0-f8-da-cc-2f-b"
called_id          "052-123-4567"
calling_id         "6F-5E-4D-3C-2B-1A"
SERVER_ADDRESS     "172.31.67.143:1812"
ACCT_SERVER_ADDRESS "172.31.67.143:1813"
CLIENT_ADDRESS     "172.31.71.6"
SECRET             "local"
TIMEOUT            5000N

# Access-Request
SEND              Access-Request
User-Name          $permanent_id
User-Password      $password
NAS-IP-Address     $ip_1
NAS-Identifier     $nas_id
NAS-Port           $nas_port
Framed-MTU         1400N

# Access-Accept
RECV              Access-Accept

FLAG              AUTH_SUCCESS

FLAG              AUTH_MEASUREMENT_END

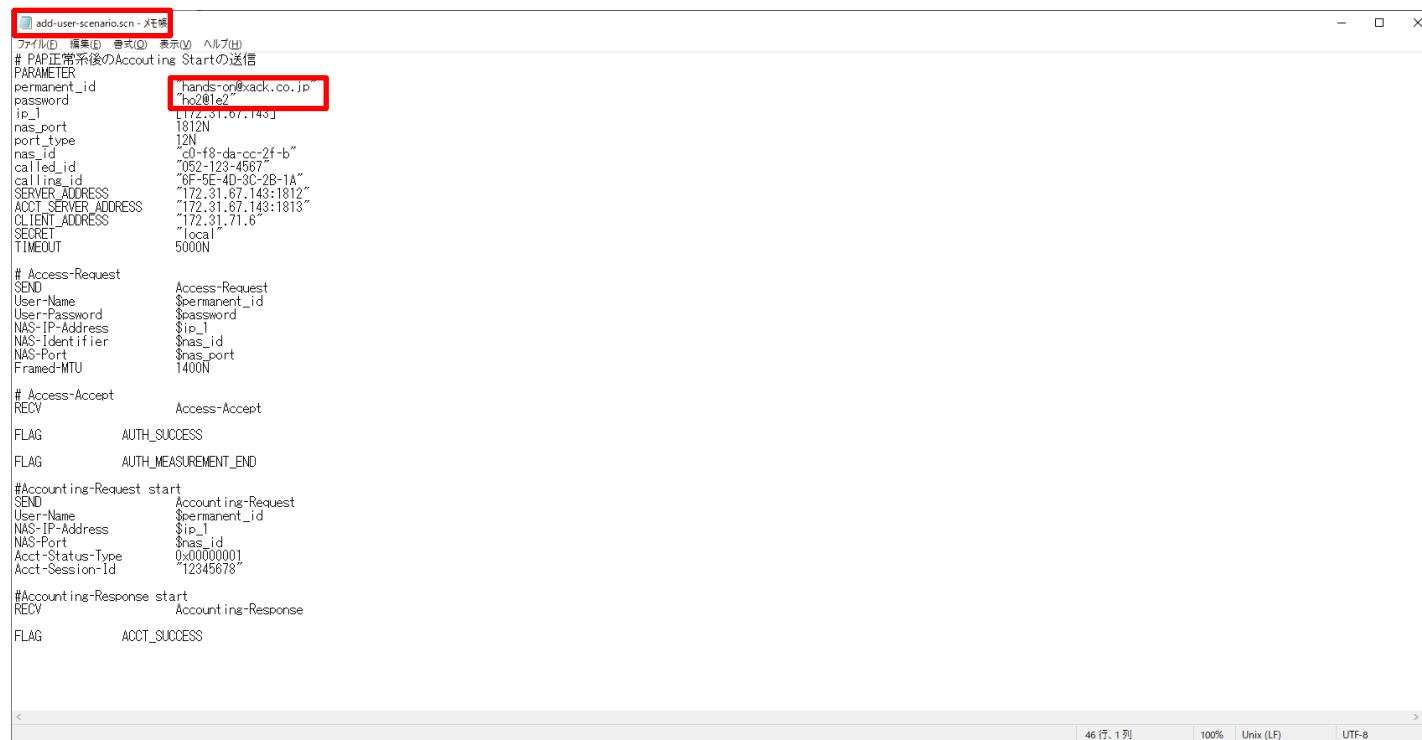
#Accounting-Request start
SEND              Accounting-Request
User-Name          $permanent_id
NAS-IP-Address     $ip_1
NAS-Port           $nas_id
Acct-Status-Type   0x00000001
Acct-Session-Id    "12345678"

#Accounting-Response start
RECV              Accounting-Response

FLAG              ACCT_SUCCESS
```

2.3.3. テストパケット送信

- ◆ 3行目の「permanent_id」の値を追加したユーザー名である「hands-on@xack.co.jp」に、4行目の「password」の値を追加したユーザーのパスワードである「ho2@1e2」に変更します。
- ◆ 変更したシナリオのファイル名を「add-user-scenario.scn」として保存します。



```
add-user-scenario.scn - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
# PAP正常系後のAccounting Startの送信
PARAMETER
permanent_id hands-on@xack.co.jp
password ho2@1e2
ip_1 172.31.67.143
nas_port 1812N
port_type 12N
nas_id c0-f8-da-cc-2f-b
called_id 052-123-4567
calling_id 8F-5E-4D-3C-2B-1A
SERVER_ADDRESS 172.31.67.143:1812
ACCT_SERVER_ADDRESS 172.31.67.143:1813
CLIENT_ADDRESS 172.31.71.6
SECRET local
TIMEOUT 5000N

# Access-Request
SEND Access-Request
User-Name $permanent_id
User-Password $password
NAS-IP-Address $ip_1
NAS-Identifier $nas_id
NAS-Port $nas_port
Framed-MTU 1400N

# Access-Accept
RECV Access-Accept
FLAG AUTH_SUCCESS
FLAG AUTH_MEASUREMENT_END

#Accounting-Request start
SEND Accounting-Request
User-Name $permanent_id
NAS-IP-Address $ip_1
NAS-Port $nas_id
Acct-Status-Type 0x00000001
Acct-Session-Id 12345678

#Accounting-Response start
RECV Accounting-Response
FLAG ACCT_SUCCESS
```

2.3.3. テストパケット送信

- ◆ 「シナリオファイル管理」タブの「アップロード」を選択します。
- ◆ ファイル選択のダイアログで先ほど保存した「add-user-scenario.scn」ファイルを選択します。
- ◆ シナリオファイル選択後、「OK」を選択します。



2.3.3. テストパケット送信

- ◆ ファイル名に「add-user-scenario.scn」が表示されていることを確認します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル

home > テストパケット送信

通知
シナリオファイルをアップロードしました。

● 本機能の使用前に、以下について確認してください
・ EAP-Monitorの使用許諾証に同意してあること

テストパケット送信 シナリオファイル管理

1ページ当たりの表示数 10

ファイル名	
test-query-scenario.scn	ダウンロード 削除
add-user-scenario.scn	ダウンロード 削除

2.3.3. テストパケット送信

- ◆ 「テストパケット送信」タブを選択します。
- ◆ シナリオファイル選択で、「add-user-scenario.scn」を選択します。
- ◆ 「送信」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

home > テストパケット送信

① 本機能の使用前に、以下について確認してください
・ EAP-Monitorの使用許諾証に同意してあること

テストパケット送信	シナリオファイル管理
シナリオファイル	<div>add-user-scenario.scn ✓</div>
	<div>送信</div>

2.3.3. テストパケット送信

- ◆ 以下のような「exit code : 0」の応答結果が得られることで、XACK RADIUSに新規ユーザーが正しく反映されていることを確認します。
- ◆ 「←」を選択します。

RADIUSデモ環境 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

シナリオファイル

コマンド実行結果 exit code : 0

```
2023-01-17 15:06:25.411686 = Scenario mode start =
2023-01-17 15:06:25.411706 -----
2023-01-17 15:06:25.411712 == Scenario: /usr/local/eap-monitor/scenario/add-user-scenario.scn Repeat: 1 ==
2023-01-17 15:06:25.411718
2023-01-17 15:06:25.411842 ===== Scene #1 / line #2 =====
2023-01-17 15:06:25.411849 PARAMETER
2023-01-17 15:06:25.412530 ===== Scene #2 / line #18 =====
2023-01-17 15:06:25.412541 SEND Access-Request
2023-01-17 15:06:25.412545 *radius identifier: 0x00 code: 0x01(Access-Request)
2023-01-17 15:06:25.412581 ===== Scene #3 / line #27 =====
2023-01-17 15:06:25.412584 RECV Access-Accept
2023-01-17 15:06:25.413837 *radius identifier: 0x00 code: 0x02(Access-Accept)
2023-01-17 15:06:25.413881 ===== Scene #4 / line #29 =====
2023-01-17 15:06:25.413885 ===== Scene #5 / line #31 =====
2023-01-17 15:06:25.413886 ===== Scene #6 / line #34 =====
2023-01-17 15:06:25.413888 SEND Accounting-Request
2023-01-17 15:06:25.413891 *radius identifier: 0x01 code: 0x04(Accounting-Request)
2023-01-17 15:06:25.413910 ===== Scene #7 / line #42 =====
2023-01-17 15:06:25.413912 RECV Accounting-Response
2023-01-17 15:06:25.414790 *radius identifier: 0x01 code: 0x05(Accounting-Response)
2023-01-17 15:06:25.414804 ===== Scene #8 / line #44 =====
2023-01-17 15:06:25.414807
2023-01-17 15:06:25.414808 = Scenario mode end =
```

2.3.4. 統計情報参照

- ◆ 運用操作の「統計情報参照」を選択します。



2.3.4. 統計情報参照

- ◆ 認証のリクエスト数、認証許可数および認証拒否数、課金スタート数、ストップ数やXACK RADIUSで保持するセッション数、ユーザー数、クライアント数といった様々な統計情報が参照できることを確認します。
- ◆ 「←」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

[←](#) home > 統計情報参照

対象サーバー radius-1 [ダウンロード](#) エクスポート [更新](#)

☐ 統計情報初期化

メッセージ種別	受信数
ACCESS-REQUEST	1
ACCESS-ACCEPT	1
ACCESS-REJECT	0
ACCOUNTING-START	1
ACCOUNTING-STOP	0
ACCOUNTING-INTERIM	0
ACCOUNTING-On	0
ACCOUNTING-Off	0
ACCOUNTING-RESPONSE	1
TOTAL SESSION COUNT	1

2.4. アカウント管理

- ◆ XACK RADIUS Managerで使用するアカウント管理手順を説明します。

2.4.1. アカウント追加

- ◆ XACK RADIUS Manager上部の「Manager設定」を選択します。
- ◆ 「アカウント設定」を選択します。
- ◆ 確認ダイアログに対して「OK」を選択します。



2.4.1. アカウント追加

- ◆ 「admin」アカウントのみが登録されていることを確認します。
- ◆ 「アカウント追加」を選択します。



2.4.1. アカウント追加

- ◆ アカウント名に「test-user」を入力します。
- ◆ 「パスワード」および「パスワード(再入力)」に任意のパスワードを入力します。
 - ◆ パスワードは8文字以上で英字、数値、記号をそれぞれ最低1文字以上含まれる必要があります。
 - ◆ アカウント名が含まれるパスワードは無効となります。
- ◆ 「登録」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定 マニュアル adminでログイン中

← アカウント追加

アカウント名	<input type="text" value="test-user"/>	✓
ログインに使用するアカウント名を設定します		
パスワード	<input type="password" value="*****"/>	✓
ログインパスワードを設定します		
パスワード(再入力)	<input type="password" value="*****"/>	✓
アカウントグループ	<input type="text" value="デフォルトグループ (全テナント参照可能)"/>	✓ ▾
所属するアカウントグループを設定します。デフォルトグループを選択した場合、すべてのテナントが参照可能です。		
アカウント権限	<input type="text" value="admin (管理者権限)"/>	✓ ▾
RADIUS Managerの操作権限を設定します		

[登録](#)

2.4.1. アカウント追加

- ◆ アカウント名に「test-user」が追加されたことを確認します。



2.4.1. アカウント追加

- ◆ XACK RADIUS Manager上部の「adminでログイン中」を選択し、「ログアウト」を選択します。



2.4.1. アカウント追加

- ◆ アカウント名に「test-user」、パスワードに先ほど設定したパスワードを入力します。
- ◆ 「ログイン」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます



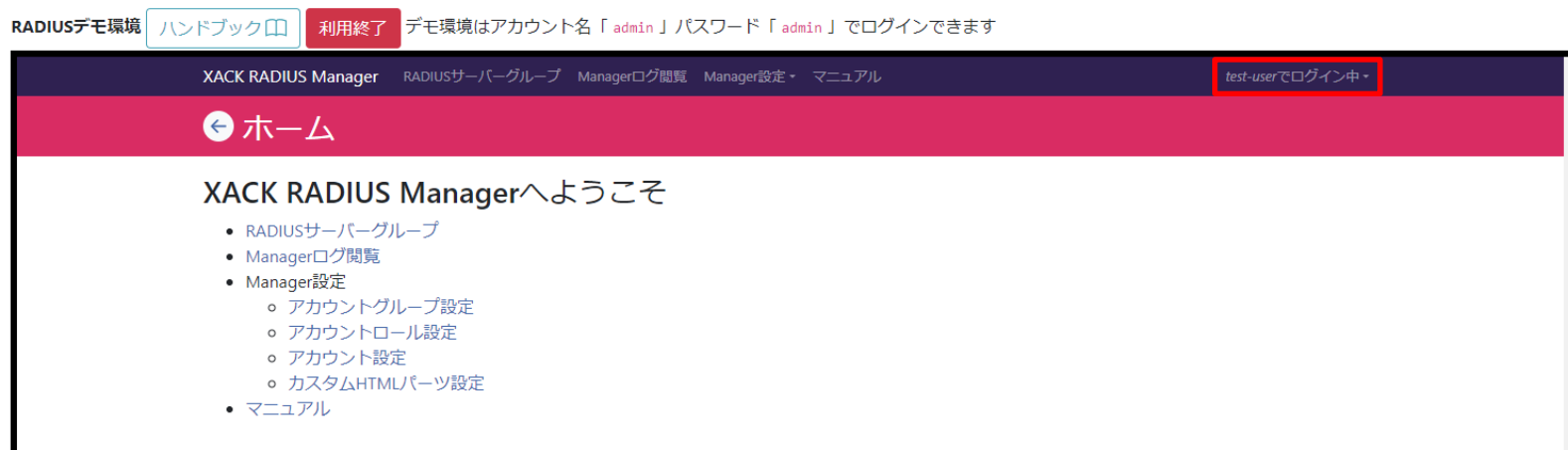
XACK RADIUS Manager ログイン

アカウント名 ✓

パスワード ✓ 

2.4.1. アカウント追加

- ◆ 「test-user」でログインされたことを確認します。
- ◆ 同様の手順で「admin」アカウントで再度ログインします。



2.4.2. アカウント編集

- ◆ XACK RADIUS Manager上部の「Manager設定」を選択します。
- ◆ 「アカウント設定」を選択します。
- ◆ 確認ダイアログに対して「OK」を選択します。



2.4.2. アカウント編集

- ◆ アカウント名「test-user」の「権限編集」を選択します。



2.4.2. アカウント編集

- ◆ 権限から「readonly (グループ設定閲覧権限)」を選択します。
- ◆ 「変更」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ Managerログ閲覧 Manager設定・ マニュアル adminでログイン中・

← 権限編集

アカウント名 test-user

権限 readonly (グループ設定閲覧権限) ✓

RADIUS Managerの操作権限を設定します

変更

2.4.2. アカウント編集

- ◆ 「test-user」の権限が「admin」から「readonly」に変更されたことを確認します。
- ◆ 2.4.1.の手順に従い、「test-user」でログインします。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) 利用終了 デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます



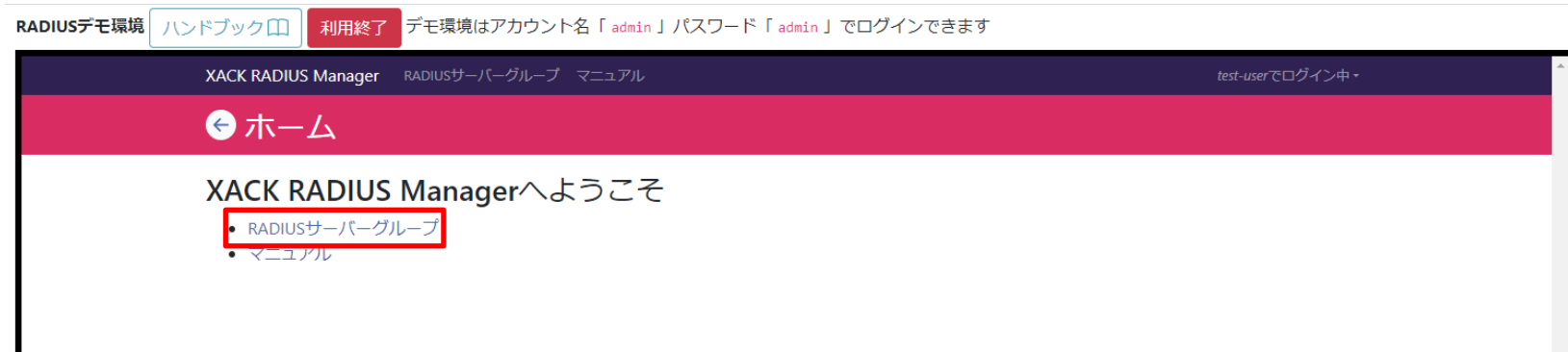
XACK RADIUS Manager ログイン

アカウント名 ✓

パスワード ✓ 

2.4.2. アカウント編集

- ◆ ホーム画面で「Managerログ閲覧」および「Manager設定」の各項目が表示されないことを確認します。
- ◆ 「RADIUSサーバーグループ」を選択します。



2.4.2. アカウント編集

- ◆ グループ名「home」の「表示」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ マニュアル test-userでログイン中

← グループ一覧

1ページ当たりの表示数 10

グループ名	ロック状態	コメント
home	adminがロック中	表示
proxy		表示

2.4.2. アカウント編集

- ◆ 運用設定の「ユーザー設定」を選択します。



2.4.2. アカウント編集

- ◆ ユーザーの「追加」および登録済みのユーザーの「編集」、「削除」が選択できなくなったことを確認します。
- ◆ 「←」を選択します。

RADIUSデモ環境 [ハンドブック](#) [利用終了](#) デモ環境はアカウント名「admin」パスワード「admin」でログインできます

XACK RADIUS Manager RADIUSサーバーグループ マニュアル test-userでログイン中

[←](#) home > ユーザー一覧

1ページ当たりの表示数 10 [検索](#) [エクスポート](#)

合計 6 件

テナント名	ユーザー名	アトリビュート付与有無	アトリビュート名	アトリビュート付与値
	sales@xack.co.jp	ON	Reply-Message	sales
	support@xack.co.jp	ON	Reply-Message	support
Accounting-department	tanaka@xack.co.jp	OFF		
Engineering-Department	yamada@xack.co.jp	OFF		
Sales-department	sato@xack.co.jp	OFF		
Sales-department	suzuki@xack.co.jp	OFF		

2.4.2. アカウント編集

- ◆ 運用操作の「起動／停止」が選択できなくなったことを確認します。



3. おわりに

- ◆ 1. はじめに
 - ◆ 1.1. XACK RADIUSとは
 - ◆ 1.2. XACK RADIUS Managerとは
- ◆ 2. RADIUSサーバー構築手順
 - ◆ 2.1. RADIUSサーバー環境構成
 - ◆ 2.2. RADIUSサーバー構築
 - ◆ 2.2.1. XACK RADIUS Managerへのログイン
 - ◆ 2.2.2. 設定確認
 - ◆ 2.2.3. 起動・動作確認
 - ◆ 2.3. XACK RADIUS運用操作確認
 - ◆ 2.3.1. IPプール設定確認
 - ◆ 2.3.2. XACK RADIUS ユーザー追加
 - ◆ 2.3.3. テストパケット送信
 - ◆ 2.3.4. 統計情報参照
 - ◆ 2.4. アカウント管理
 - ◆ 2.4.1. アカウント追加
 - ◆ 2.4.2. アカウント編集
- ◆ 3. おわりに

3. おわりに

- ◆ 以上で、XACK RADIUSのハンズオンは終了です。
- ◆ 終了の際には「利用終了」を選択します。



3. おわりに

- ◆ 本ハンズオンでの説明は以上となります。
- ◆ ハンズオンを通じて本製品ご興味を持たれた、詳細な動作やご不明点等ございましたら、弊社お問い合わせフォームよりご連絡いただければ幸いです。
- ◆ お問い合わせフォーム
<https://xack.co.jp/contact/>



あらゆる「つなぐ」を共創する。